

資料①
スーパーサイエンス・グローバルマインドセットテスト (SST) 1年生

SSH、GLHS 及び 国際教育の取組みを評価するための調査へのご協力をお願いします。
このアンケートは、本校が指定を受けているSSH、GLHSの成果を検証するための重要な基礎データとなります。
これまで参加した様々な取り組みを振り返り、どんな力が身についたかについて、設問ごとに5段階で教えてください。
マークミスがある場合、可能な修正は担当で行いますが、回答者自身でないと修正できないものもあります。
その場合に、回答者に修正依頼ができるように、「組・番」の「マーク」を間違いのないようお願いいたします。
修正依頼以外に「組・番」を用いることはなく、集計後にマークカードは処分します。

【マークカードの記入方法】

鉛筆で、次のようにマークしてください。

- (1) 学年・クラス・出席番号を、下の例を参照に、マークしてください。
(2) 各設問で、 に記入した番号を、下の例を参照にマークしてください。

(例) 3年9組45番

学年 3
クラス 09
番号 045

D欄は記入不要

あてはまるか、あてはまらないかを、5段階で回答して下さい。(注)あてはまる場合が5段階の「5」です！

因子	番号	事項	あてはまらない ←→ あてはまる				
			--	-		+	++
A 知的 好奇心 知的探究心	1	未知の物事や、原因不明の現象等に、興味関心がある。(ホントかな?)	1	2	3	4	5
	2	未知の物事や、原因不明の現象等があると、それを解明したくなる。(なんでやる?)	1	2	3	4	5
	3	研究はおもしろいと思う。(おもしろいやん!)	1	2	3	4	5
B 問題発見力 問題解決力	4	普段見過ごしがちなことに疑問を持ち、問題や課題を見つけている。	1	2	3	4	5
	5	問題に取り組むときに、何が問題なのかを明らかにしている。	1	2	3	4	5
	6	問題解決のために、見方を変えたり別の立場に立つなど、いろいろな方法で多面的に考えている。	1	2	3	4	5
C 読解力 情報収集力 (インプットのカ)	7	文章や資料を、正確に読み取ることができる。	1	2	3	4	5
	8	文献の調査やインターネットを活用するなど、必要な情報を収集できる。	1	2	3	4	5
	9	収集した情報を分析・判断し、情報をまとめることができる。	1	2	3	4	5
D 表現力 発信力 (アウトプットのカ)	10	調べたことや研究したことを、明確な文章にまとめることができる。	1	2	3	4	5
	11	図、表、グラフなどを入れ、分かりやすく説得力を持つ資料(ポスター・スライドなど)を作成できる。	1	2	3	4	5
	12	聞き手(対象)、場面、発表時間等を考慮し、筋が通った明快なプレゼンテーションを行うことができる。	1	2	3	4	5
E 論理的思考力 論理的表現力 数理的手法の活用カ	13	比較したり、関係付けたり、法則性を見出す等、体系的に考えることができる。	1	2	3	4	5
	14	論理的に考え、論理的に表現することができる。	1	2	3	4	5
	15	問題解決の為に、統計的手法の活用やコンピュータによる処理など、様々な数理的手法を用いることができる。	1	2	3	4	5
F 聞く力 質問する力 コミュニケーションカ	16	話し手の説明や考えを、整理して理解することができる。	1	2	3	4	5
	17	話し手の説明等に対し、疑問点を整理し、的確な質問をすることができる。	1	2	3	4	5
	18	いろいろな人と意見交換し、お互いの考えを理解し、コミュニケーションを通して物事を進めることができる。	1	2	3	4	5
G チームワーク リーダーシップ フォロワーシップ	19	仲間やチームの中で、協力して問題解決に取り組むことができる。	1	2	3	4	5
	20	周りの人に呼びかけたり働きかけるなど、仲間やチームを作って、物事に取り組むことができる。	1	2	3	4	5
	21	自分の役割を理解し、周りを支えたり、リーダーを助けたりして、グループの活動を前に進めることができる。	1	2	3	4	5
H 英語運用カ	22	英語を読み、英語を聞き取るなど、英語で情報を入手することができる。	1	2	3	4	5
	23	英語を書き、英語を話すなど、意見や考え方を英語で伝えることができる。	1	2	3	4	5
	24	英語で意見交換し、英語でお互いを理解し、英語で課題の解決を進めることができる。	1	2	3	4	5
I 多様性の理解 コラボレーションカ	25	自分や自分達と異なる考え方や習慣について、興味を持つことができる。	1	2	3	4	5
	26	身近な人たちから海外の人たちに至るまで、違いを認め、お互いを尊重することができる。	1	2	3	4	5
	27	同じ考えや習慣の人たちだけでなく、異なる考え方や習慣の人たちと力を合わせることに、価値を感じる。	1	2	3	4	5
J 社会貢献・国際貢献に 対する意識 全地球的視点	28	高校や大学で身につけたことを、社会のために生かしていきたい。	1	2	3	4	5
	29	国内だけでなく、世界のいろいろな国の人たちに貢献できる人になりたい。	1	2	3	4	5
	30	地球規模で起こっていることに関心があり、日常のことも全地球的視点から考えるようにしている。	1	2	3	4	5

31が最後の質問です。
1年生は回答不要です。

31 文理・コースの番号をマークして下さい。 1 文系LS 2 文系SS 3 理系LS 4 理系SS